**第1学年1組　算数科学習指導案**

**1　題材名**　30より大きいかず

**2　本時の学習指導**（2/8校時）

　(1)目標

　○2けたの数の構成について理解し、2通りの表し方が分かる。（数学的な考え方）

　(2)展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 時間 |
| 1　前時の振り返りをする。C1　46の4は十のくらいで、6は一のくらいと言います。問題場面10を□こと、1を□こあわせたかずは46です。課題2けたのかずをあらわしてみよう。2　46を算数ブロックで表し、46には10と1がそれぞれ何個あるのかを考える。C1　10のまとまりを4こと6のまとまりを作る。C2　バラバラに並べると、算数ブロックが何個あるのかすぐに分からないよ。C3　10のまとまりのほうが分かりやすいよ。C4　10のまとまりが4こと1が6こです。3　46以外の2けたの数についても考る。問題①10を4こあつめたかず□②10を7こと、1を8こあわせたかず□C1　10を4こあつめたかずは40です。C2　10を7こと、1を8こあわせたかずは78です。C3　10を□こと、1を□こあわせたかずは○です。問題場面53は10を□こと、1を□こあわせたかずです。4　「2けたのかずをあらわしてみようゲーム」をする。①プリントに2けたの数字を書き、その数を表わす文の□に当てはまる数字を書く(3つ)。②2人組をつくりジャンケンをする。勝った児童が負けた児童に問題を出す。　1)25は10を何こと、1を何こあつめたかずでしょうか。2)10を2こと、1を5こあわせたかずはいくつでしょうか。どちらの問題の出し方でもよい。③友達が自分の問題に正解したら、友達のプリントの☆マークを塗る。8　本時の学習を振り返る。 | ○前時の振り返りを行うことで、これまでの学習を本時の学習につなげられるようにする。○「46を算数ブロックを並べて表してみよう。」と発問し、児童が算数ブロックを並べて46を表わせるようにする。○児童が算数ブロックを並べ終わったことを確認した後、前に出てカメラの下で、どのように46を表わしたのか発表できるように声をかける。○他の表し方をした児童がいるか問いかけ、他の児童の考え方を知ることができるようにする。○「10のまとまりを作った人が多いけどバラバラに並べるのはどうかな？」と問いかけ、教師がバラバラに並べた状態をカメラに写すことで、10のまとまりで並べたほうが分かりやすいことに気づけるようにする。○「10のまとまりと、残りを1で集めると分かりやすいんだね。」と児童に声をかけ、「10のまとまりは何個ありますか。」と児童に問いかけることで10のまとまりが4個と、1が6個で46になることに児童が気づけるようにする。○児童の発言をもとに、「10を4こと1を6こあわせたかずは46です。」と板書し、児童がここまでの学習を確認できるようにする。○児童が考えている様子を見て回り、つまずいている児童がいたら声をかけ、一緒に考えられるようにする。○「もう少し時間が欲しい人はいますか。」と声をかけ、児童が解き終わっていることを確認してから答え合わせを行う。○「10を□個と、1を□個あわせた数はいくつでしょう。」と教師が口頭で2～3問の問題を出し、児童が授業内容を理解しているか確認できるようにする。○「53は10を何個と、1を何個あわせた数ですか。」と児童に発問する。○「○は10を何個と、1を何個あわせた数ですか。」と教師が口頭で2～3問の問題を出し、2けたの数の表し方に慣れることができるようにする。○プリントに好きな2けたの数字と、その数を表わす文の□に当てはまる数字を書くように声をかける。○児童一人に前に出てもらい、実践しながらゲームの仕方を説明することで、児童が活動内容を理解し活動に参加できるようにする。○他の児童と交流し、楽しみながら2けたの数の表し方を学習できるようにする。○☆マークをいくつ塗ることができたか児童に問いかけ、意欲的に取り組んだことを自信につなげられるようにする。○どのような問題を出したのか数名に発表してもらい、活動内容を学級全体で共有できるようにする。評　2けたの数について、「10を□こと、1を□こあわせたかずは○。」、「○は10を□こと、１を□こあわせたかずです。」という2通りの表し方が分かる。（数学的な考え方）○振り返りを行うことで、2けたの数を2通りの方法で表わせるようになったことを確認する。 | 5′10′10′15′5′ |

**3　板書計画**

1/24　2けたのかずをあらわそう。

４６

10を4こと、1を6こあわせたかずは46です。

53は10を5こと、１を3こあわせたかずです。

****